

農耕地登録品

農林水産省登録 第19929号

茎葉処理除草剤

# クサクリーン®液剤

クサクリーンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

●有効成分：グリホサートイソプロピルアミン塩液剤・・・・・・・・・・41.0%

クサクリーン®は、茎や葉から吸収され、雑草体内に移行、根まで枯れる除草剤です。

## 特 長

- スギナ、セイタカアワダチソウ、イタドリ、ヤブガラシ、ススキ、ササなどの雑草、かん木を根まで枯らします。
- 土に落ちると不活性化、散布直後でも作物・草花の種まき、植え付けができます。
- 長期間、雑草の発生をおさえます。
- 成分はアミノ酸系で、土壌微生物により分解されます。

## 散布時期

一年生  
雑草

発生がほぼ完了し、  
草丈が15cm~30cm位  
になった頃に散布すると  
安定した効果がえられます。

多年生  
雑草

根まで枯らすためには、  
雑草の生育盛期~開花期前  
までに散布すると効果的です。

竹類

6~8月(夏)にドリルで穴を  
あけて1本当たり15ml注入  
すると効果的です。



容量 × 入数

10 × 12



容量 × 入数

50 × 4



株式会社 エムシー緑化



三井化学  
グループ

# クサクリン<sup>®</sup>液剤

## 適用雑草と使用方法

平成24年10月15日現在

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサート										
				薬量	希釈水量													
果樹類 (バケツルを除く)	圃場内の周縁部	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250~500mL/10a	通常散布 50~100L/10a 少量散布 25~50L/10a	3回以内	雑草莖葉散布	3回以内										
だいず		多年生雑草	は種7日前まで (雑草生育期)	500~1000mL/10a		2回以内		2回以内										
		一年生雑草	は種後出芽前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250~500mL/10a		1回以内		3回以内										
えだまめ		一年生雑草	は種7日前まで (雑草生育期)	25~100L/10a		3回以内												
小麦		一年生雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	500~1000mL/10a		100L/10a			1回									
		多年生イネ科雑草	は種後出芽前(雑草生育期)	250mL/10a		25~100L/10a		3回以内										
麦類(小麦を除く)		圃場内の周縁部	一年生雑草	耕起7日前まで (雑草生育期)		250mL/10a		通常散布50~100L/10a 少量散布25~50L/10a	3回以内	雑草莖葉散布	1回							
かんしょ			多年生雑草	耕起又は播種7日前まで (雑草生育期)		250~500mL/10a			100L/10a			3回以内						
			だいごん	一年生雑草									耕起又はは種7日前まで (雑草生育期)					
キャベツ			一年生雑草	耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)														
はくさい			一年生雑草	定植後畦間処理但し、 収穫30日前まで(雑草生育期)														
ねぎ			一年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)														
茶			一年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)														
水田作物(水稲を除く)			圃場内の周縁部	移植水稲									耕起20~10日前 (雑草生育期)	100L/10a	1回	1回	雑草莖葉散布	耕起栽培は2回以内 (耕起前は1回以内)、 乾田不耕起栽培は2回以内
直播水稲																		
水田作物(水田刈跡)	水田刈跡			多年生雑草	雑草生育期		500~1000mL/10a						25~100L/10a	1回	1回			
水田作物(水田畦畔)	水田畦畔			一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)		250~500mL/10a						通常散布100L/10a 少量散布25L/10a	2回以内	2回以内			
				多年生雑草	500~1000mL/10a													
水田作物 畑作物(休耕田)	休耕田			一年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)		250~500mL/10a						通常散布50~100L/10a 少量散布25~50L/10a	4回以内	4回以内			
樹木類	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等			多年生雑草	雑草生育期		500mL/10a						通常散布100L/10a 少量散布25L/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草莖葉散布	3回以内		
樹木等	スギナ			生育盛期	2000mL/10a		少量散布25~50L/10a											
林木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ、ササ類、 クス等の多年生雑草 落葉雑草かん木		生育盛期以降	1000mL/10a		20~30L/10a	3回以内		雑草木莖葉散布								

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサート
林木	林地	クス	春期又は秋期	原液又は 2倍液	1~2mL/株	-	株頭注入処理	-
		落葉雑草かん木	5~10月		1mL/カ所		立木注入処理	
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	落葉雑草かん木	5~10月	伐採直後	樹径 10cm以下 10~20cm 20cm以上	-	立木注入処理	-
		雑草かん木	夏~秋期		切り口全体に十分量を塗布		植栽地を除く樹木等の 周辺地に切株塗布処理 竹節注入処理	
林木、畑作物	林地、放置竹林、畑地	竹類	夏~秋期	原液	5~15mL/本			

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

## 注意事項

- 本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
- 泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いないこと。
- 展着剤の加用の必要はない。
- 本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はない。
- 本剤は散布時の雑草の草丈や莖葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないこと。
- 本剤は通常2~14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しないこと。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるので、適期にスギナにかかるように注意して散布すること。
- 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布すること。
- 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布すること。
- 水田への飛散、流入等により水稲に被害を生ずるので、十分注意すること。
- だいずのは種後出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると葉害を生ずる恐れがあるので、必ず出芽前に散布すること。
- 注入処理における注意事項  
1.クスには株頭にナタなどで傷をつけ、薬液がよくしみ込むように注入処理する。  
2.落葉雑草かん木には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ、薬液を注入処理する。  
3.処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さないこと。  
また、籾籾いや立て札によりたけのこが採取されないようにすること。
- 雑草かん木に塗布処理を行う場合は、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布すること。
- 農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい葉害が生ずるので、かからないように十分注意すること。
- 本剤の調製及び保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製(ステンレスを除く)の容器類は使用しないこと。なお散布液を調製した容器及び散布器具は、使用后十分に水洗いすること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 土壌が流亡したり、くずれたりする恐れのある所では使用しないこと。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、特に以下のことに注意すること。  
1.水源地、養殖池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意すること。  
2.散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。  
なお、普及指導センター、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう籾籾いや立て札を立てるなど配慮し、入畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用は避けること。
- 養魚池周辺での使用には、特に注意すること。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

※本製品は莖葉処理除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。  
※本印刷物は平成24年10月15日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

販売元



### 株式会社 エムシー緑化

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-7-7  
TEL 03-6842-8590 FAX 03-6842-8593



取扱い